

区分	☐ 新 規 ☒ 再提案 (H25・8・29 第133回総会；安曇野市)		
種類	☒ 現行制度の改善又は <u>拡充</u> を求めるもの ☐ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの ☐ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの ☐ その他（ ）		分野 ☐ 総務文教 ☐ 社会環境 ☒ 経済 ☐ 建設
要望先	☒ 国	担当省庁	林野庁
	☒ 県	担当部局	林務部
	☐ その他	名 称	
件名	16 松くい虫対策事業の予算確保について		
提案市	伊那市		
提 案 要 旨	長野県の松くい虫による被害量は全国で２番目に多くなっており、森林県長野の重要課題であり、早急な対応が必要となっている。 このままの状態が続けば赤松資源の枯渇や松茸の減産、さらには豊かな森林景観が損なわれることが懸念されるので、国・県に対して早急な対策と支援を行うよう要望する。		
提 案 理 由	伊那市は北上する松くい虫被害の先端地域となっており、毎年多くの予算を割いて対応しているが国・県の補助の制約もあり十分な対策となっておらず市民の間でも危機感は大変強い。 倒木による市民生活への被害も生じており早急な対策が望まれている。		
現況及び課題等	長野県の平成26年度の民有林における松くい虫被害は約7万5,900立方メートルに達し、被害が過去最大であった平成25年度から比較するとやや減少したものの、依然高い水準で推移しており、一度拡大した被害は沈静化が難しく憂慮すべき事態となっている。 また、長野県は被害量で鹿児島県に次ぐ被害量で、全国の13.7パーセントをしめている。 しかしながら国の予算は十分に確保できておらず、特に大きな事業費を要する樹種転換等の事業費は全く確保されていない。		
法令関係			